

2025 年 7 月 15 日

公立大学法人大阪
本部事務機構財務部契約課

最低制限価格の誤りによる落札決定の取消しについて

本法人が入札を実施した工事について、最低制限価格の算出方法に誤りがあったことが判明し、落札決定を取り消しましたので、次のとおり報告いたします。

なお、本事案は、本法人の手続上の誤りによるものであり、当初落札決定していた事業者に過失はありません。

このような事案が発生したことについて、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後このようなことがないように再発防止を徹底してまいります。

記

1. 概要

次の工事の入札における落札者の決定過程において、最低制限価格の算出方法に誤りがあり、本来落札者とすべきでない入札者を落札者と決定したものです。

- (1) 工 事 名 称 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス C8 棟・C13 棟・C14 棟外
 壁改修及び屋上防水・給水塔部分撤去その他工事その 2
- (2) 開 札 日 2025 年 6 月 13 日
- (3) 予 定 価 格 307,568,000 円（税抜）
- (4) 最低制限価格 (正) 281,999,000 円（税抜）
 (誤) 282,679,000 円（税抜）

2. 判明後の対応

誤った最低制限価格に基づく落札者に経緯の説明と謝罪を行い、落札決定を取り消しました。現在、真正な最低制限価格に基づく本来の落札者と契約手続を進めているところです。

3. 再発防止に向けた取組み

職員の適正な業務執行に係る監督を徹底するとともに、最低制限価格の算出に関するチェック体制の見直し・強化を図り、再発防止に努めてまいります。

以上

概要の説明

公立大学法人大阪が発注する工事等の入札については、公立大学法人大阪契約事務取扱規程第9条に基づいて、予定価格と最低制限価格の範囲内で最低の価格で入札した者を落札者としています。最低制限価格は、公立大学法人大阪工事請負契約に係る最低制限価格設定基準に基づいて、最低制限価格算出基礎額に無作為に選択した数値を乗じること(以下「ランダム係数処理」という。)により得た額としています。また、ランダム係数処理は、開札場所において入札執行担当職員が予定価格調書を開封後、予定価格算出基礎額及び最低制限価格算出基礎額を確認し、処理するランダム係数の範囲を発表したうえで、対応するランダム係数表を採用して、抽選機を回し出た玉の数字を基にランダム係数表中から該当する係数を決定することになっています。

本事案については、職員が改めて開札時の資料を確認したところ、採用すべきランダム係数表が間違っており、本来、落札候補者の資格を有しない事業者が落札していたことが判明しました。